

年 組 名前：

ひとり親世帯に届けるために食料品が入った段ボール箱を運ぶ中村三郎さん
=北杜市内

北杜市高根町村山北割の中村三郎さん(78)は、市内のひとり親世帯を対象に食料支援をしている。現在60世帯に食料品を配達。配達時に言葉を交わすことで、支援を受けている人が気軽に相談しやすい環境をつくるよう心がけている。「食料の支援をするだけでなく、心の支えになるような存在になりたい」と話している。

〈井村賢紳〉

北杜・中村さん 年15回配達

ひとり親世帯に食料支援

「元気?」「コメの他にお菓子も持つてきたよ。」昨年末、中村さんは支援先の住宅を訪れ、食料品が詰まつた段ボール箱を運び込んだ。

中村さんは市内のボランティア団体「ひげじいカフェ&送迎」の代表を務め、高齢者が通院や買い物をする際の移動支援や傾聴ボランティアなどに取り組んでいる。食料支援は

2023年に始め、現在は地域活動を通じて知り合ったひとり親家庭9世帯に対し、月1回と、春、夏、冬の長期休み期間の合わせて年間15回配達している。

昨年12月の支援では、コメ5kgのほか、野菜や乾麺、菓子類、卵などをセットにして配布。地域活動で知り合った人から寄贈されたり、自ら購入したりした物品を届けている。

1軒ずつ回り、ひとり親世帯の親が一人で悩み事を抱え込まないよう会話をすること大切にしているといふ。長男(12)と長女(2)を育て、支援を受けている保育士の女性(41)は「物価高騰が続く中、いつも助かっている。相談にも乗ってくれるので心強い」と感謝する。中村さんは子どもたちが元気に育つていくのを見ると話している。

(2026年1月15日付 山梨日日新聞13面)

問1 北杜市高根町の中村三郎さんは、市内のひとり親世帯を対象に食料支援をしています。

食料支援をしながら、なにを心がけていますか。

問2 中村さんが代表を務める団体名を、答えてください。

問3 昨年12月の支援では、どのように入手した物品を、どのようなセットにして配布しましたか。

・入手手:

・セット:

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.